

「親子でキャンプ in ASO」事業報告書

企画指導専門職 安部 信吾

1 事業の概要

- (1) 趣 旨 家族で自然体験・生活体験等の活動を通して、親子の絆を深めるとともに、野外活動の楽しさを味わわせる。また、阿蘇の自然の中での体験活動を通して、子供の豊かな情操を養う。
- (2) 期 日 平成30年3月24日(土)～25日(日) 1泊2日
- (3) 活動場所 国立阿蘇青少年交流の家
- (4) 参加者 58名(17家族)
- (5) 担当職員 安部 信吾(企画指導専門職) 山下 正晃(企画指導専門職)
萱野 太一(事業推進室係員) 古賀 久恵(事業推進室係員)
野尻 明美(専門職員) 志賀 泰成(事業支援室主任)
古閑 仁美(事務補佐員)
- (6) 内 容 【1日目】ツリーイング、薪割り体験、テント設営、たき火で焼マシュマロ作り
【2日目】ピザ作り

2 成果と課題

(1) 成 果

- 「テント設営を自分たちで行い、まだ寒い時期でもシュラフなども貸していただき、家族で野外活動を大変楽しむことができました。」「子供が、ツリーイングは怖かったけれど楽しかったといきいきと話してくれました。普段できない体験なのでとてもよかったです。」「ナタを子どもに使わせるのはドキドキでしたが、案外自分で気を付けているみたいでよかったです。」等の感想があり、野外活動の楽しさを味わうことができた様子が伺えた。
- 「たくさんの子供たちと仲良くなり、将来のための生きる力になったと思います。」「初めて会うご家族ともたくさん話ができ、子供たちが仲良くできてよかったです。」「なかなか普段は子供と丸2日間遊ぶことができないので、家庭の絆が深まりました。」など、家族の絆の深まりが見られたとともに、家族間の交流もできたようだった。
- 「時間に少し余裕があるプログラムだと思っていましたが、意外とあったという間に時間が過ぎてました。」との感想があった。ファミリー向けの事業では、ゆとりあるプログラムで計画しておく、急がせることなく充実した活動ができることがわかった。

(2) 課 題

- 天気がよく計画していたプログラムを実施できたが、朝夕の気温が低く、テント泊には少し寒かったようで、「初めてテント泊をしたのですが、寒くてつらかったです。子供たちは全然寒くなくて楽しかったそうです。」「水が冷たくて歯磨き、顔洗いが大変でした。」とのアンケート記述もあった。もう少し暖かい時期に実施できるとよい。
- 1日目は、3つの体験活動をローテーションで行ったが、それぞれの活動時間に差があり、待ち時間が出てしまった。空いた時間に他の活動ができるように準備しておく等の工夫ができればよかった。

3 事業の様子



家族紹介でアイスブレイク



ツリーイング体験



薪割り体験



テント設営



たき火で焼マシュマロ作り



協力してピザ作り



ピザ完成



閉会式での感想発表